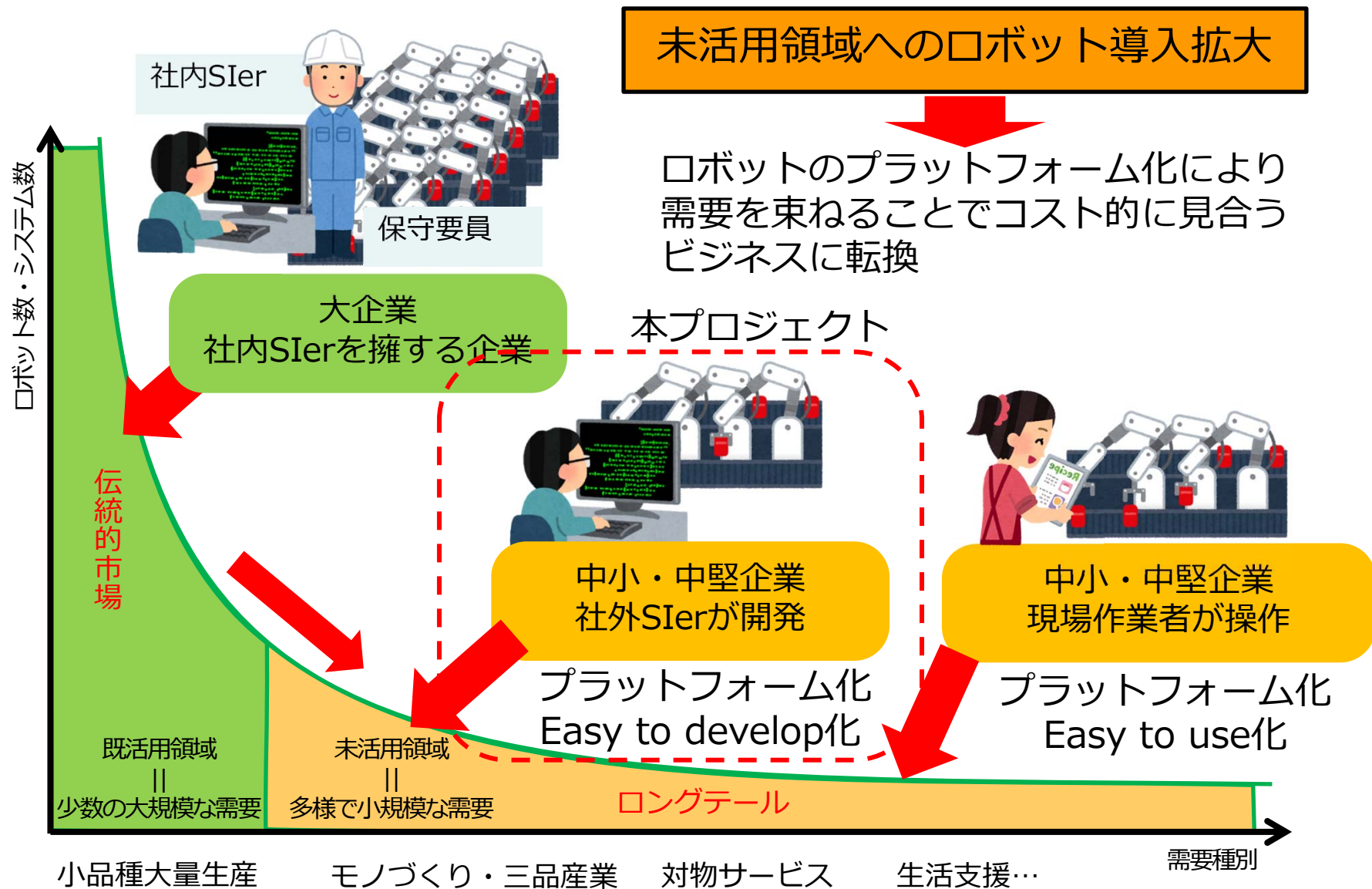


2019年12月20日 13:30-  
国際ロボット展2019シンポジウム  
南2F B会議室

# ロボット活用型市場化適用 技術開発プロジェクトの概要

プロジェクトリーダー  
国立研究開発法人産業技術総合研究所  
安藤 慶昭



RRI（ロボット革命イニシアティブ協議会）WG3における議論を経て2017年度から開始

## 事業期間

- 2017～2019年度

## 2017年度公募・採択

ハード開発事業者（7事業者）

- カワダロボティクス
- 富士ソフト・日本電産
- 東芝
- セック・THK・名城大
- 川崎重工
- YOODS
- パナソニック

ソフト開発事業者（5事業者）

- 産総研
- 東大
- TORK
- イーソル
- JQA

## ハードウェアコンソーシアム

カワダ  
ロボティクス



富士ソフト  
日本電産



東芝



セック・THK  
名城大



川崎重工



YOODS



パナソニック



ライフ  
ロボティクス



## ソフトウェアコンソーシアム

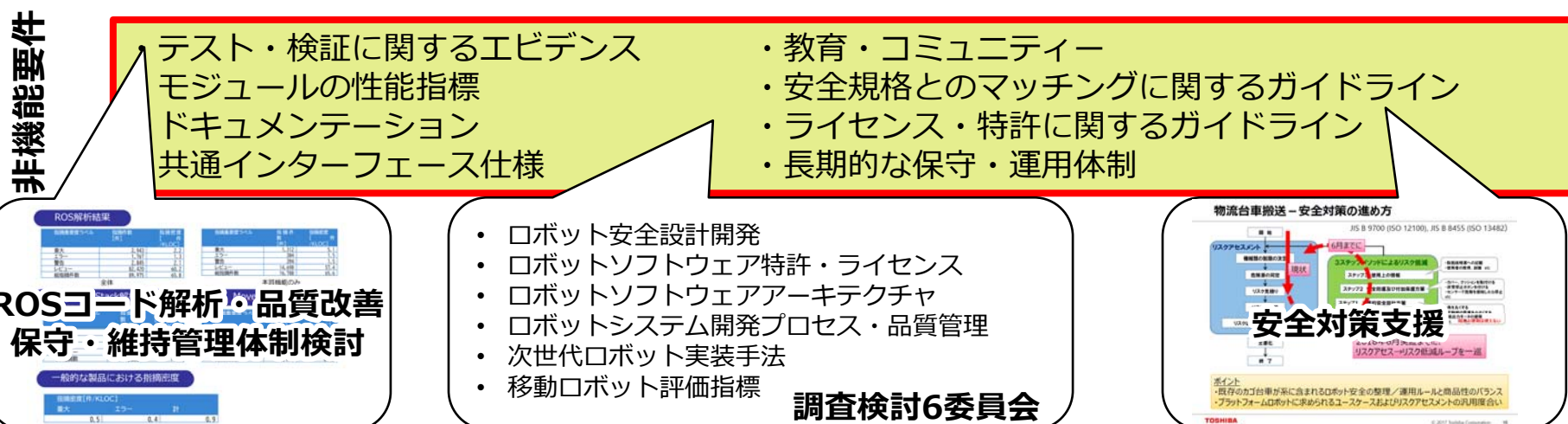
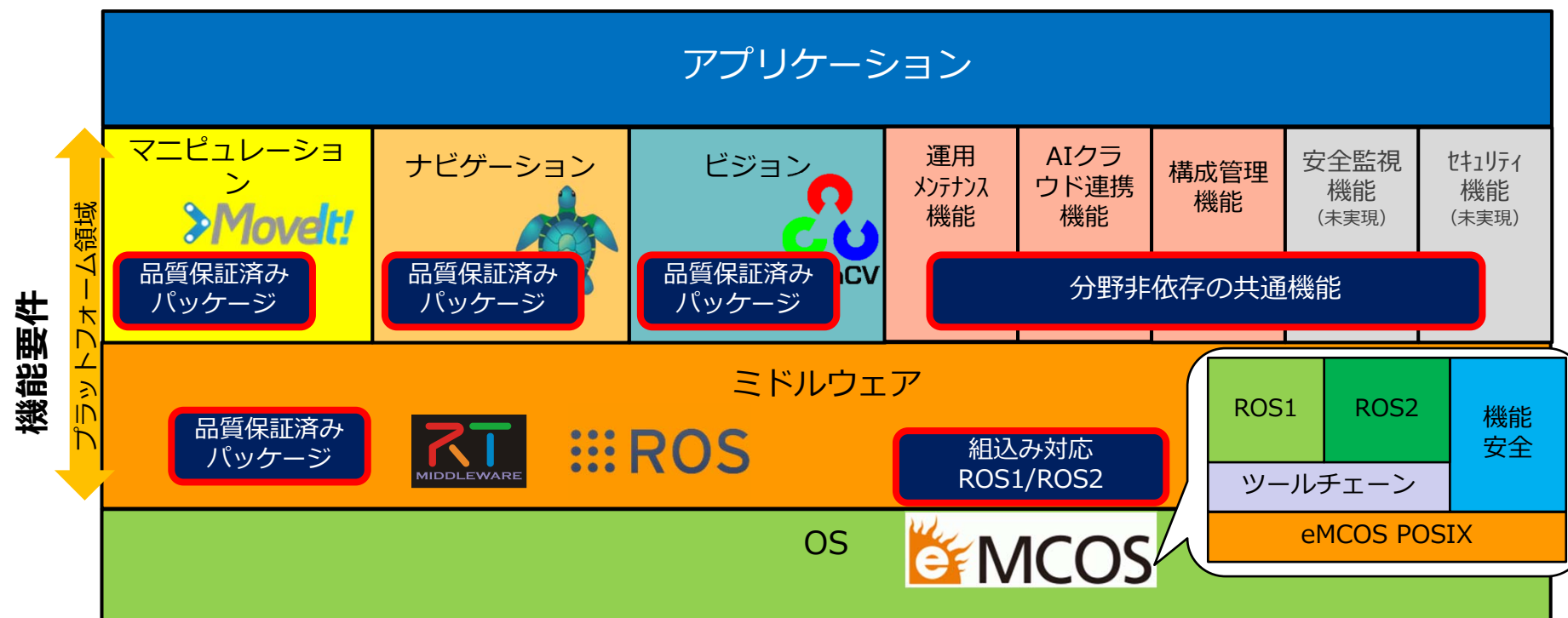




ソフト・ハードともに

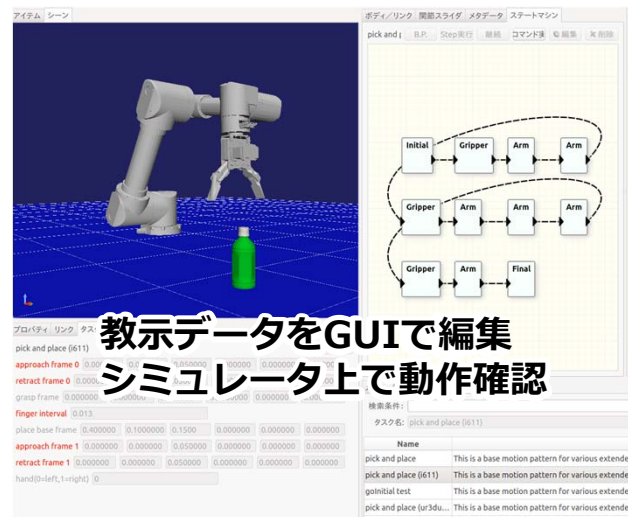
**「ベース機能」 + 「オプション機能」 + 「個別開発」**

でアプリケーション開発可能にすることで、SIコスト削減、分業促進



## 教示データ再利用ツール“teachingPlugin”

- SI作業コストの多くを占める「教示」を簡略化
- 過去の教示データを同様の作業へ再利用可能に



## ミドルウェア相互運用フレームワーク

- RTM/ROS1・2等様々なミドルウェアを相互接続
- ソフトウェア資産の有効活用

